

クスリをつかう・クスリをつくる

－製剤の使用法を学び、調剤を体験する－

薬学部・医療薬学領域（薬剤系） 教授 福島昭二 先生
教授 岸本修一 先生
他



この項目では、はじめにお薬の使い方を学びます。私たちが使うお薬には、錠剤、散剤、水剤のほか、様々な剤型があり、中には特別な使い方をするものもあります。また、オブラートやオブラートジェリーなど、便利な服薬補助製品も市販されています。皆さんは正しく、薬を服用したり、使うことができますか？ 目薬のさしかたなど、難しくはありませんか？ 薬剤師になるには薬の使用方法を正しく知っておく必要があります。代表的なお薬を実際に使ってみましょう。

次に、実際にお薬をつくってみます（調剤）。病院や薬局では、患者さんが使用のお薬を、処方箋に基づいて薬剤師が調剤しています。調剤実習室で実際に調剤し、患者さんが使うお薬がどのようにつくられるのか、体験してみます。調剤するのは以下の3種類の予定です。

1. 散剤 粉のクスリです
2. 液剤 ビンに入った液状のクスリです
3. 軟膏 クリーム状のクスリです

これらの体験を通して、患者さんが正しくお薬を使うための重要な役割を、薬剤師が担っていることを理解していただきたいと思います。

